

GDアンカー

【柱頭用6寸】

【柱頭用9寸】



GDアンカーは後付けタイプのホールダウン金物で、屋外から壁を壊すことなく直接外部から施工できます。

本製品は、既存木造住宅の耐震性を向上させる目的で開発された商品です。ご使用に際しましては、本取扱説明書をよくお読みいただき、建築基準法（告示1460号）に従った適正な箇所に施工してください。

【はじめに】

GDアンカーは、既存木造住宅の耐震性を向上する目的で開発された耐震補強部材です。地震時に発生する水平力により、柱が浮き上がり抜け落ちるのを防止します。

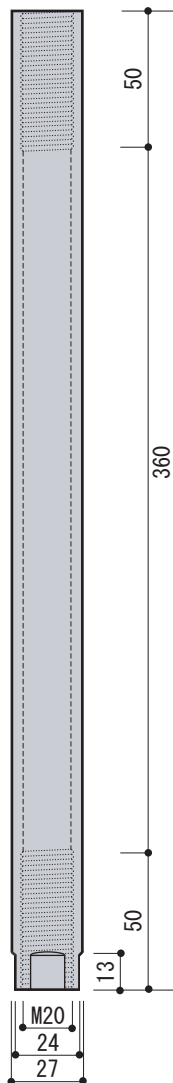
設置工事を行う前には必ず耐震診断を実施して、適正な補強計画のもと設置箇所の選定を行ってください。

【使用工具類】

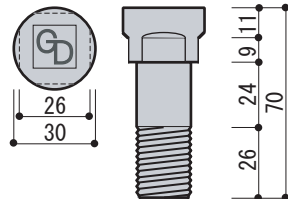
- ①コンクリートハンマードリル
- ②インパクトドライバードリル（コード式を推奨）
- ③専用工具（・木部アンカーレンチ・スパナセット・アンカーピン打込みソケット）
- ④18mm・10.5mm・5mmコンクリート用ドリルビット
- ⑤18mm木工用ドリルビット
- ⑥17mm・10mmソケット
- ⑦セットハンマー
- ⑧防水コーキング剤・コーキングガン
- ⑨ダストポンプ・歯ブラシ等
- ⑩水平器
- ⑪墨付け
- ⑫ウエス
- ⑬養生シート（ブルーシート等）

GDアンカー【柱頭用】

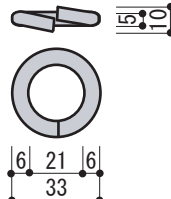
⑥連結パイプシャフト × 1本
: SUS304



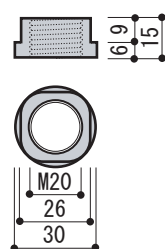
③ヘッドボルト×1個
: SUS303



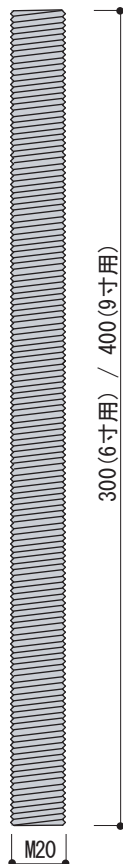
④スプリングワッシャー
: SUS304 × 2枚



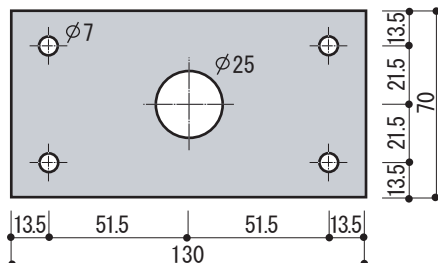
⑧専用ナット × 2個
: SUS304



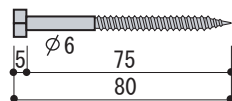
⑦柱頭用連結ボルト×1本
: SUS304



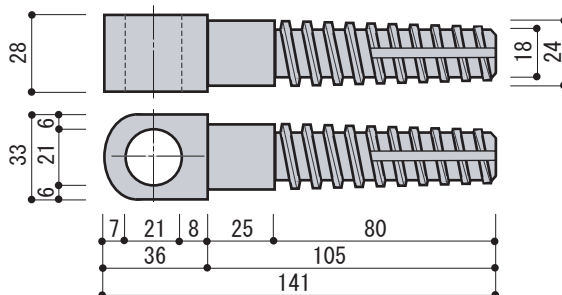
①木部プレート × 2枚
: SUS304 t:2mm (※裏面防水テープ t:約1mm)



②コーチボルト × 8本
: SUS304



⑤木部アンカー : SUS303 × 2本



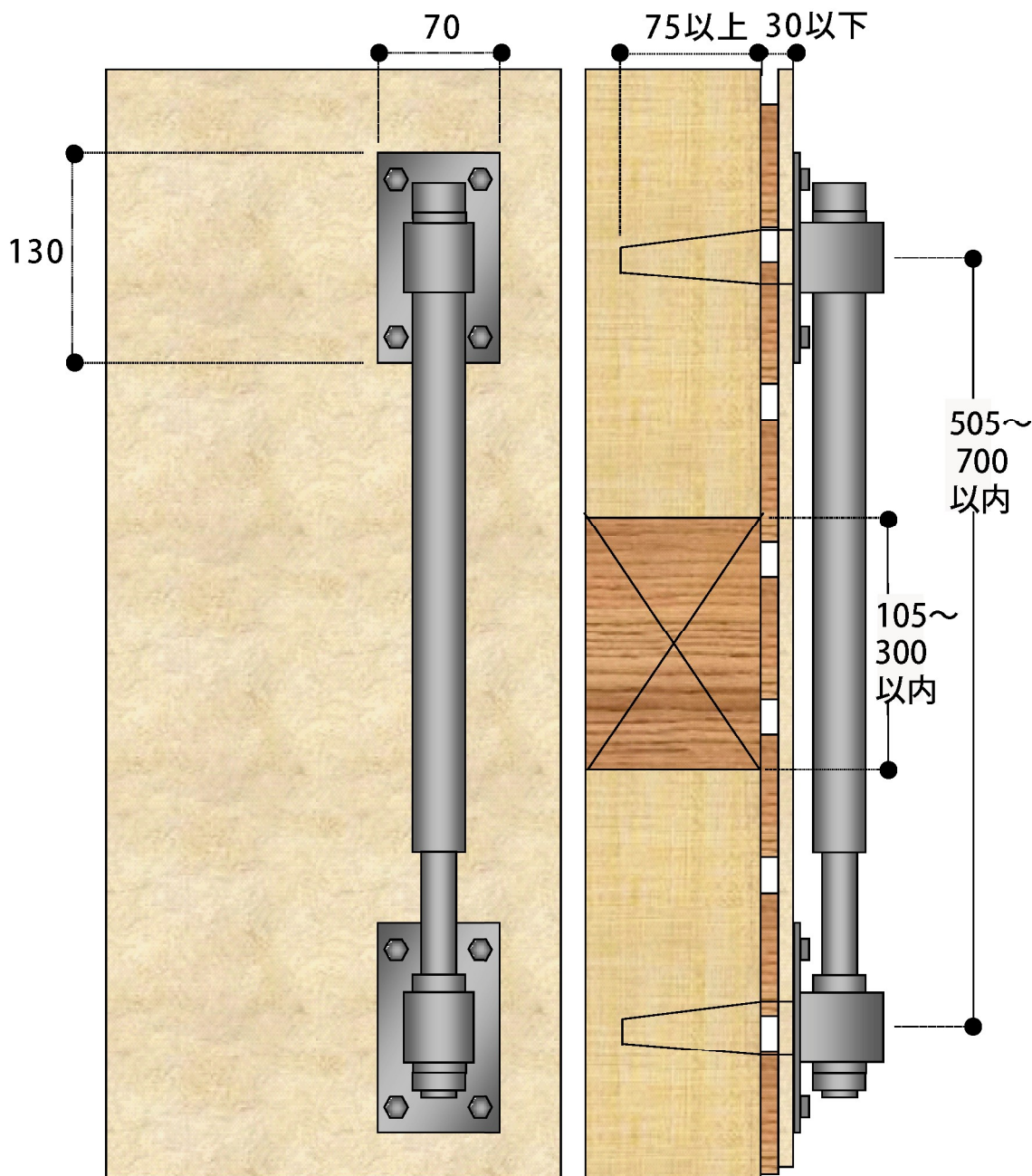
GDアンカー（柱頭用）施工図

1階部分の柱（柱頭）と2階部分の柱（柱脚）を引き寄せて繋ぎます。
梁の寸法が

105mm～200mm用の商品（6寸用）

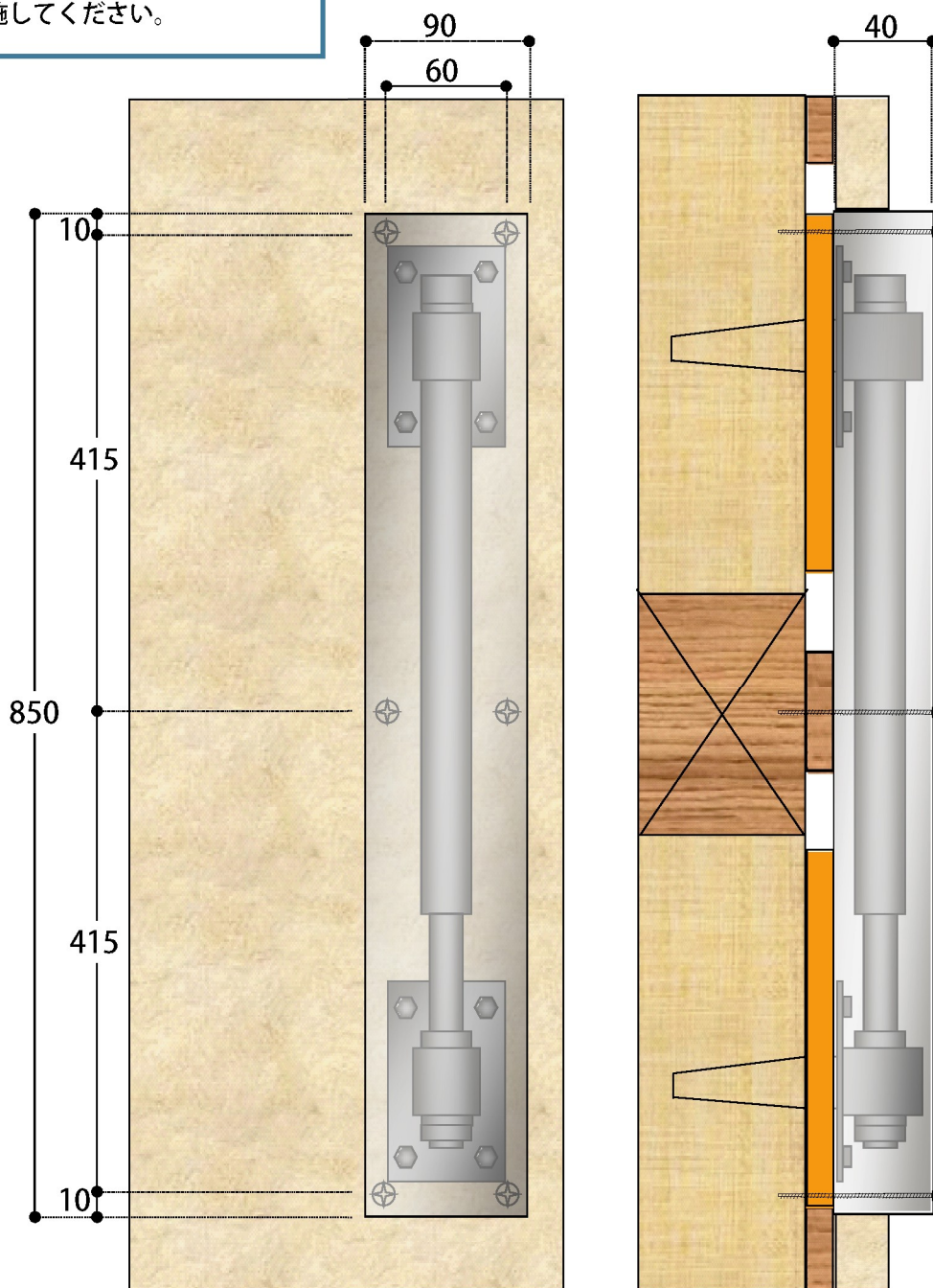
200mm～300mm用の商品（9寸用）の2タイプがあります。

意匠が気になる場合には専用のカバーを取り付けて施工します。



外壁仕上げ材に ALC・金属サイディング等 柔らかい材質の場合の施工手順

- 外壁材を専用カバーのサイズでカットします。
- 柱面に 20 ～ 30mm 厚の合板を当て板します。
(90mm×280mm) 2 枚
- GD アンカーを取付けます。
- 専用カバーをビスどめし、雨水の侵入防止の為
周囲にコーキングを施してください。



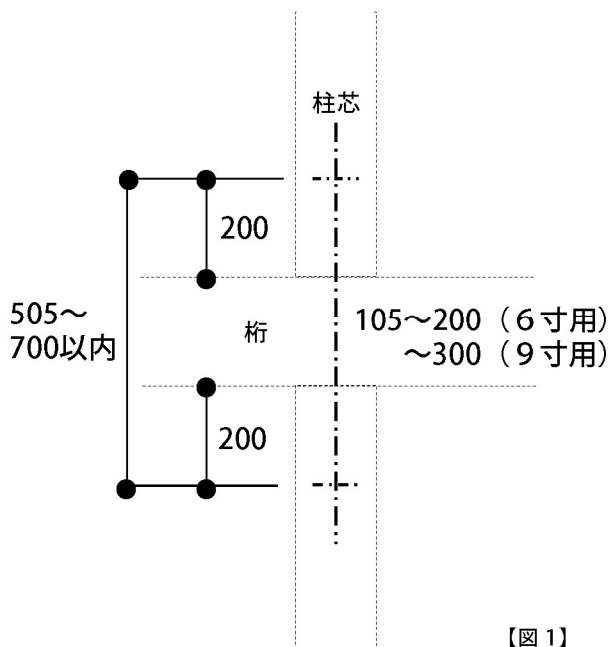
施工手順① 取付位置の墨出し

●柱の中心位置を計り出し、水平器などを用いて垂直に取付位置の墨出しを行います。

- ・桁の上端から 200mm 上
- ・桁の下端から 200mm 下

【図 1】

⚠ 材成が 90mm 未満の柱には取付できません。



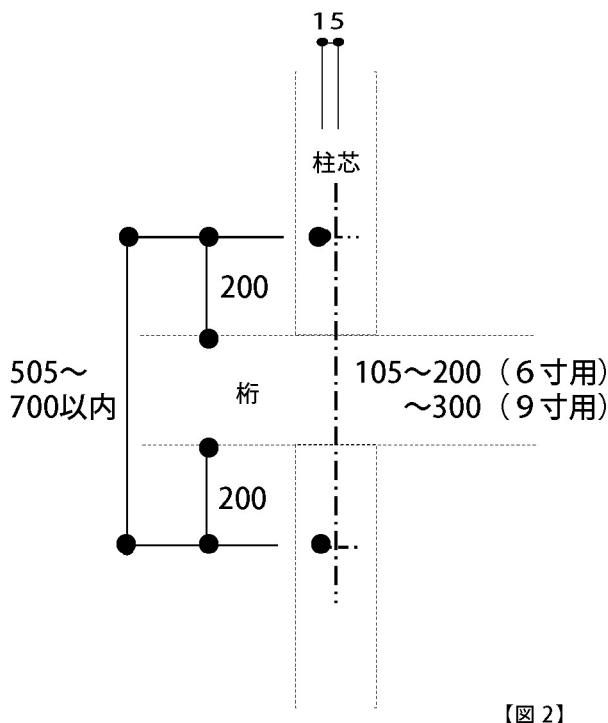
【図 1】

施工手順② 柱の背割れ確認

●木部アンカー取付位置に 5mm のコンクリート用ドリルビットで、約 50 ~ 60mm 穿孔し、背割れの有無を確認します。

【図 2】

⚠ 背割れのある場合、上下共に 15mm セットバックしてください。



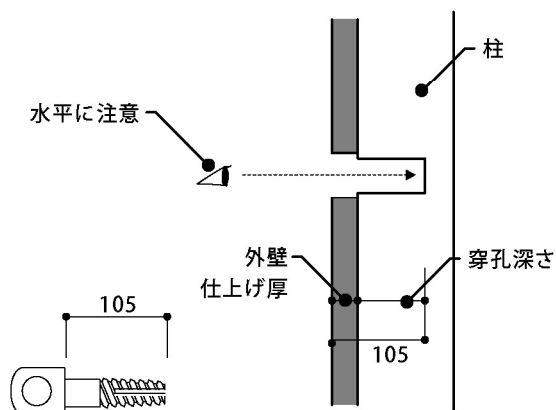
【図 2】

施工手順③ 木部アンカー取付け穴の穿孔

- 墨出し位置に 18mm のコンクリートドリルで木部まで穿孔し、24mm 程度まで穴を広げます。
- 18mm の木工用ドリルで水平に穿孔します。

【図 3】

- ⚠ 外壁仕上げ厚により穿孔深さを調整してください。
- ⚠ 外壁仕上げ厚が 30mm を超える場合施工出来ません。



【図 3】

施工手順④ 木部アンカー・プレートの取付 [その1]

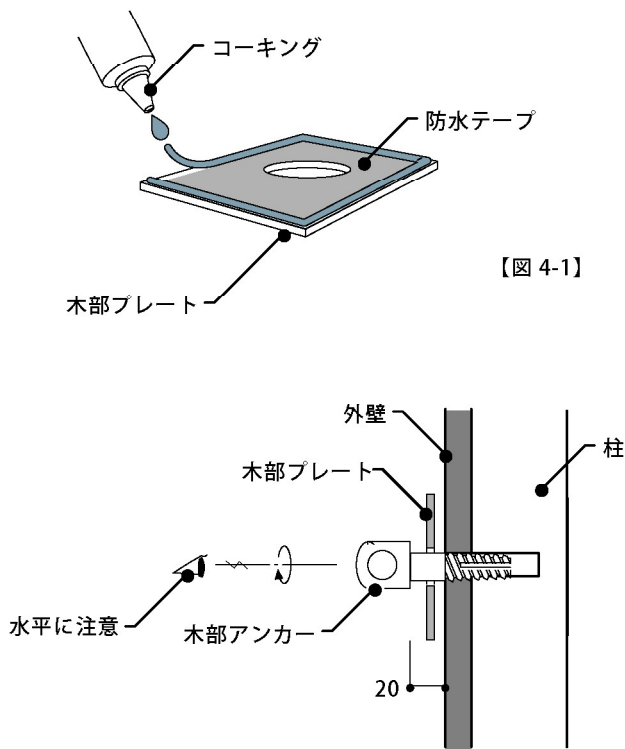
- 手順④で穿孔した穴にコーキング材を充填します。
- ⚠ 穴内部の削りカス等を取り除いてから行います。

- 木部プレートの保護シールを剥離後、木部プレートと外壁の取付面の縁にコーキングを塗布します。木部プレートの防水テープはアンカーヘッド貫通穴に沿って外壁面側に折り曲げます。

【図 4-1】

- 木部プレートの穴に木部アンカーヘッドを差込み、専用工具で水平垂直を確認しながら固定位置まで 20mm 程度残して桁にねじ込みます。

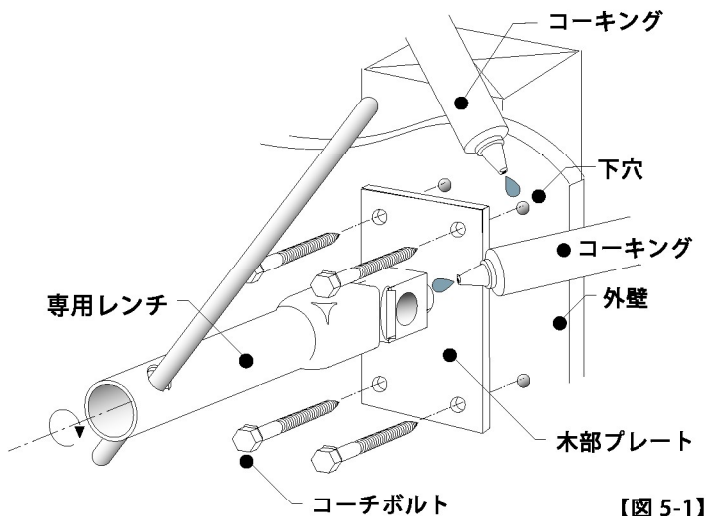
【図 4-2】



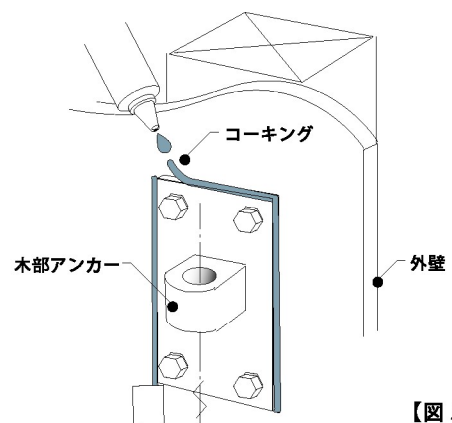
【図 4-2】

施工手順⑤ 木部アンカー・プレートの取付 [その2]

- 木部プレートを外壁に押付け、木部プレートの穴に合わせて5mmのコンクリート用ドリルでコーチボルトの下穴を穿孔します。
穿孔後、下穴にコーキングを充填しておきます。【図 5-1】
- コーチボルトを10mm ソケットで締めこんで木部プレートを固定します。
- ⚠ 木部プレートの水平に注意し、コーチボルトの締めすぎに注意して施工します。
- 木部アンカーの根元にコーキングを施し、木部プレートに密着するまで締めこみます。
穴の向きが上下垂直方向になるように固定します。
- 固定した木部プレートの三方(上左右)にコーキングを施します。
余分なコーキングをふき取っておきます。【図 5-2】
- ⚠ 木部アンカーの締めすぎに注意して施工します。



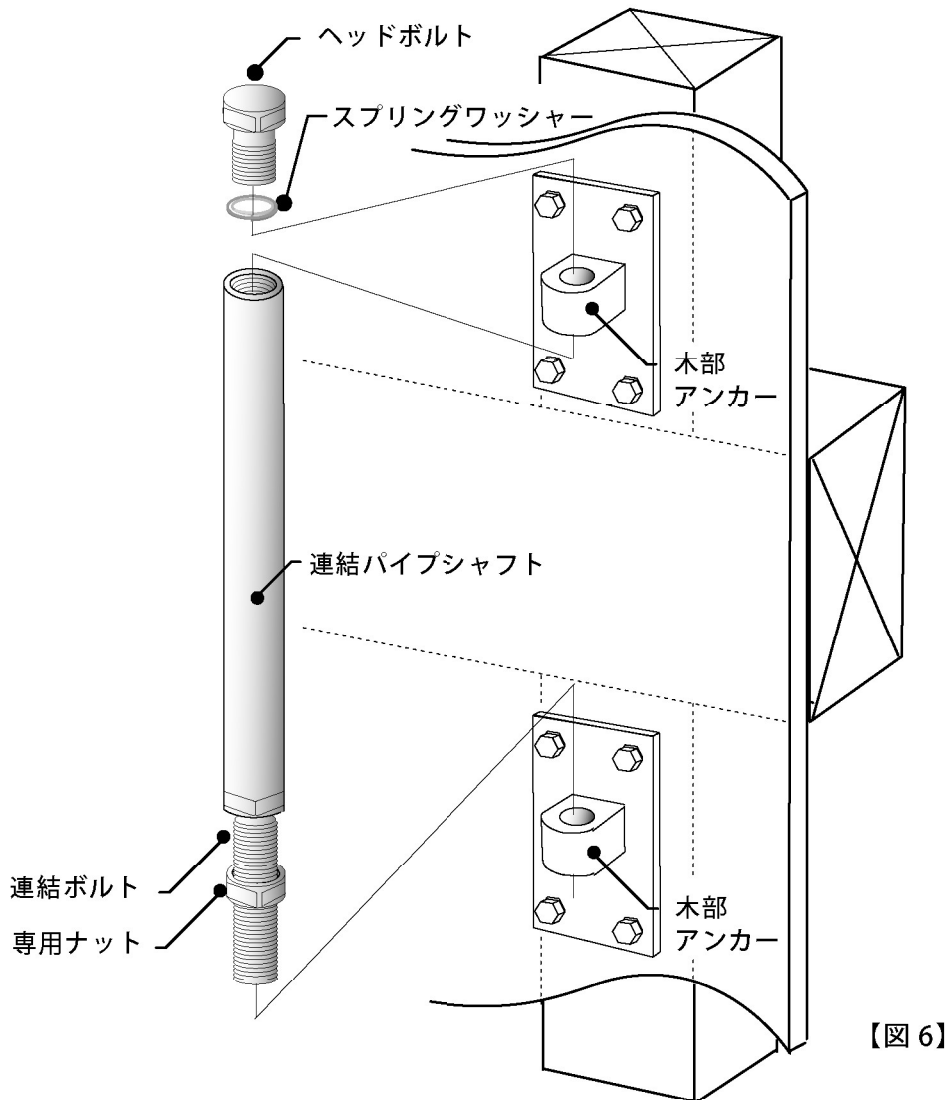
【図 5-1】



【図 5-2】

施工手順⑥ 連結パイプシャフトの取付[その1]

- 連結パイプシャフトに連結ボルト・専用ナット(向きに注意)を取付けて、基礎アンカーヘッドに挿し込みます。
- 【図6】



施工手順⑦ 連結パイプシャフトの取付 [その2]

- ヘッドボルトと連結パイプシャフトを専用スパナで硬く締め付けます。【図7】

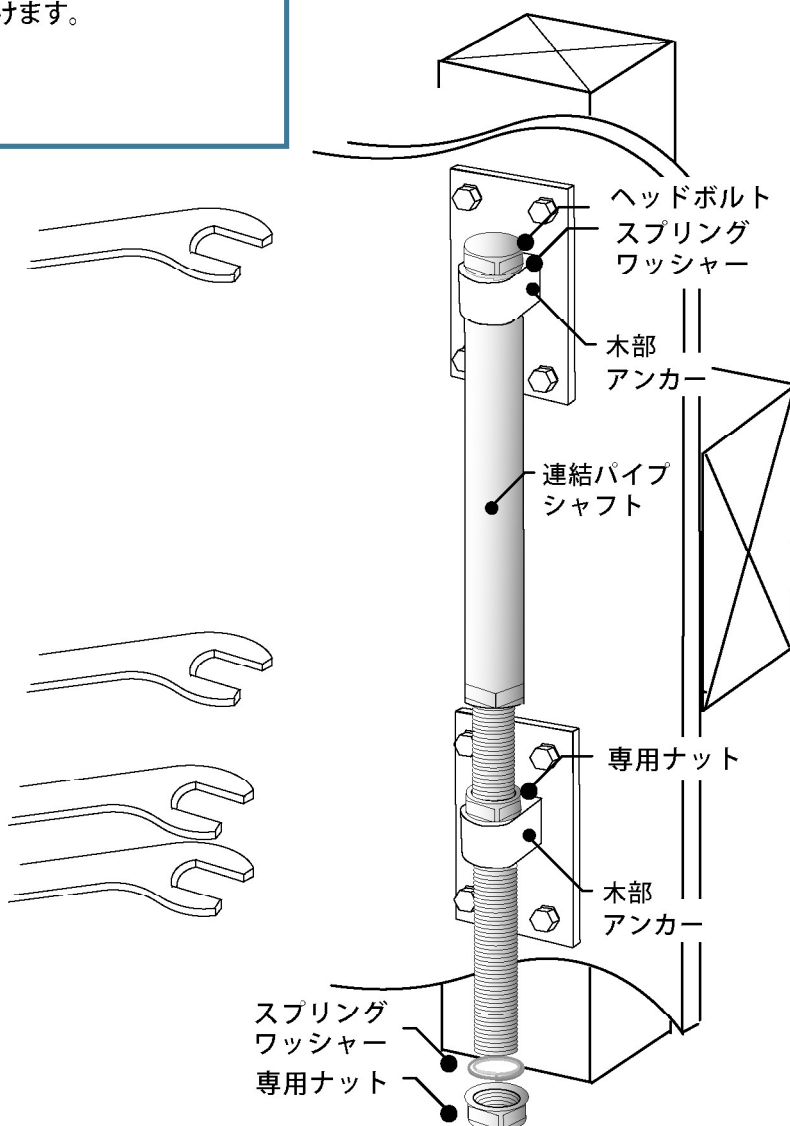
⚠ 締め付け不足防止の為、専用スパナをお使いください。

- 連結ボルトにスプリングワッシャー・専用ナットの順に回し入れ、下部の専用ナットを専用スパナで締め付け固定します。

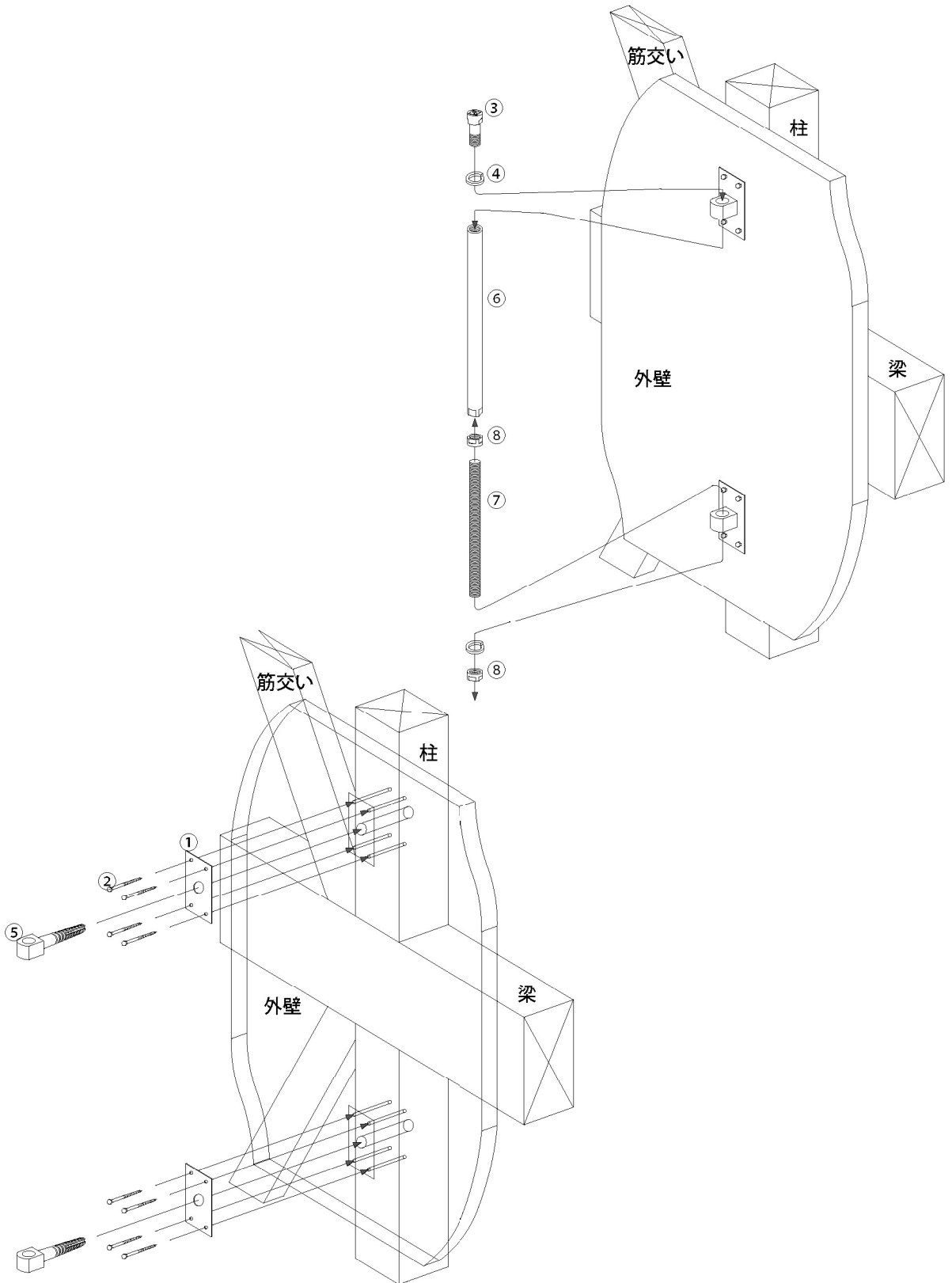
⚠ 上部の専用ナットをフリー状態にしてください。

⚠ 締め過ぎに注意してください。

- 下部の専用ナットを専用ナットで押さえながら上部の専用ナットを硬く締め付けます。



【図7】



GDアンカーの各部材の材質は、下表の通りであることを保証します

	部品名	材質
1	木部プレート	SUS304
2	コーチボルト	SUS304
3	ヘッドボルト	SUS303
4	スプリングワッシャー	SUS304
5	木部アンカー	SUS303
6	連結パイプシャフト	SUS304
7	連結ボルト（6寸・9寸）	SUS304
8	専用ナット	SUS304

当製品は耐候性、耐久性、強度に優れた錆びにくい高品質のステンレスを採用しております。
 正常な使用状態での製品の不良等については、施工日より5年間は無償で良品と交換させていただきます。

●品質保証登録について

工事完工後に※印の箇所にご記入の上、下記にFAXして品質保証の登録を行って下さい。登録がない場合、保証を受けられない場合があります。また、当製品につきましてご不明な点などがございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

開発・製造・販売 / グランデータ株式会社 TEL 042-523-7800 / FAX 042-523-7811

製 品 名	GDアンカー【柱頭用6寸・9寸】		
保 証 対 象	製品本体		
保 証 期 間	5年間（施工日より）		
※施 工 日	平成	年	月 日
※施工店(代理店)			
※お客様(お名前)	電話	-	-
※お客様(ご住所)	〒 -		